

YOKOHAMA DESIGN COLLEGE

絵本進路BOOK

絵本作家になりたいと
思っているあなたへ



幼い頃読んだ「絵本」をおぼえていますか？

絵本の中に面白い主人公がいて、
いつもおなじ所で笑ったりしたこと。
お母さんやお父さん、お兄ちゃんやお姉ちゃんに
何度も「読んで！読んで！」とお願いしたこと。
そして、読み終わったあと泣いたり笑ったり感動したこと。
おぼえていますか？



絵本は、どんな人たちが描いているのかな？

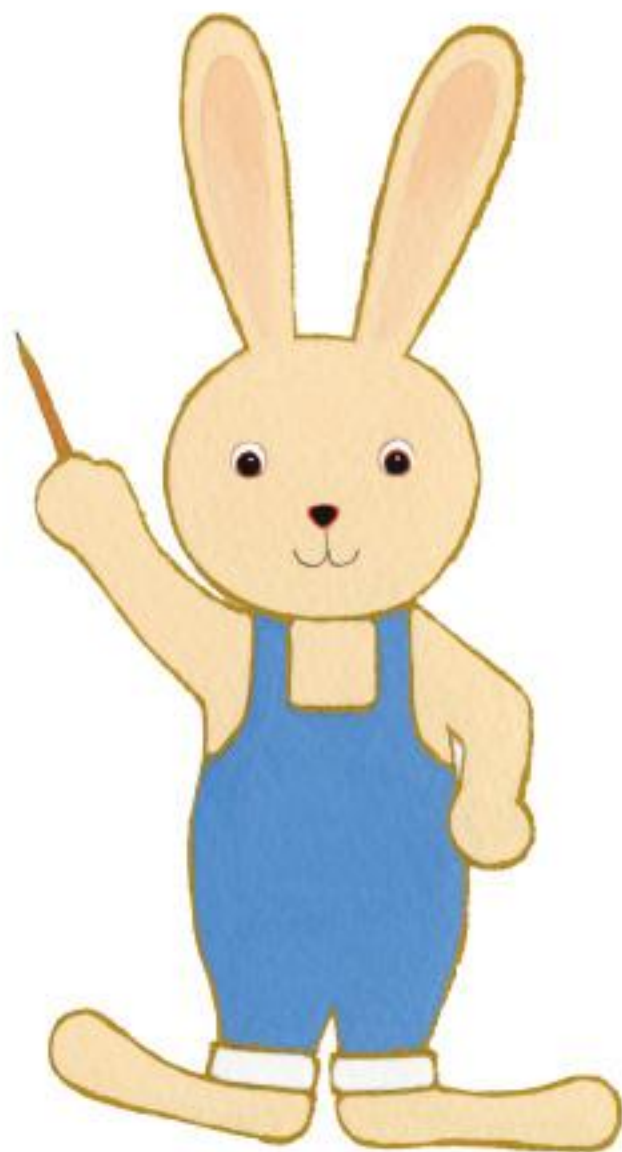
絵本って、どうやって作っているのかな？

絵本って、どんな人が描いているのかな？

絵本を作ってみたい！

絵本を描いてみたい！

と、思っているあなたに！



絵本は、どのようにして作るのかな？

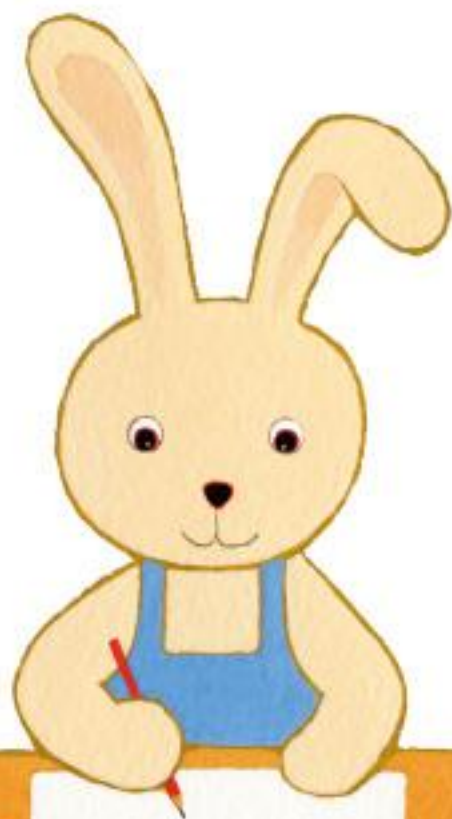
絵本を作るには、はじめに「何を伝えたいのか？」を考えます。

伝えたいことを物語にしていきます。

そして、その物語に合わせて絵を描きます。

絵本は、ことばと絵のハーモニーが大切です。

何を絵にし、何を絵にしないか・・・このバランスも大切です。



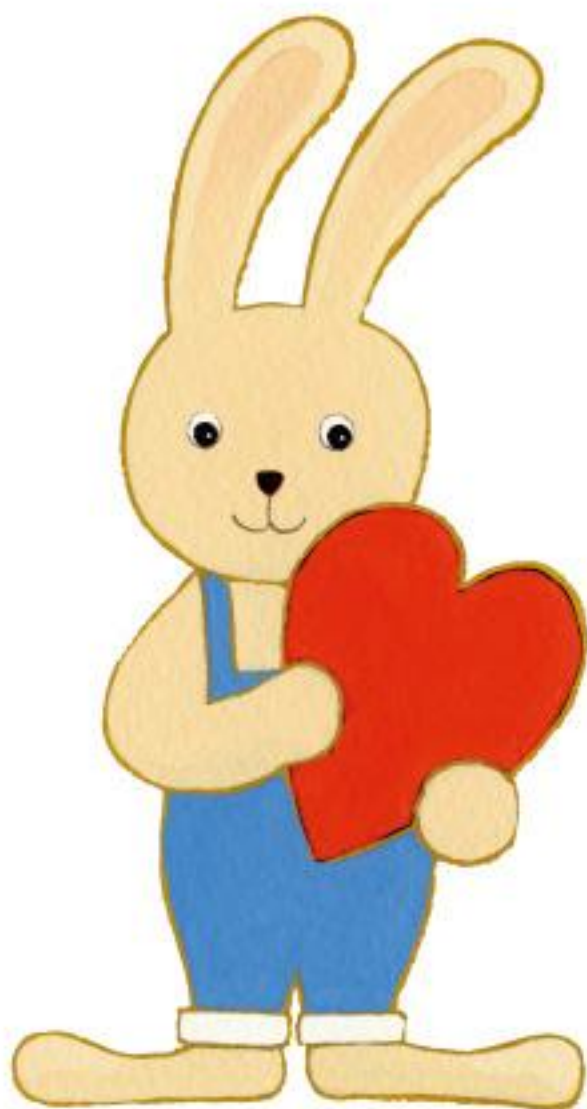
どうすれば絵本作家になれますか？

まずは、たくさん作品を描きましょう。
そして、たくさんの人に読んでもらいましょう。
コンクールに応募したり、出版社に持っていったり、
自分の作品を、たくさんの人に認めてもらう事が大切です。
すぐには絵本作家になれないかもしれませんが、
続けること、それが一番大切です。



絵本作家の“素質”は？

大人になっても子どもの心を持っていることです。
小さなことに感動して笑ったり泣いたりできて、
いろんなことへの思いやりと好奇心、
「ひとに伝えたいという気持ち」があればそれが“素質”です。



Message

絵本の授業では、ただ上手に物語が書けたり、上手に絵が描けたりするのが、目標ではありません。上手に描こうとするよりも、見たり考えたりしたことを自分で感じたとおりに物語にしたり、絵を描いたりすることが大切です。真剣に創作活動を続けていくと、次第に絵が上手になるだけでなく、心(感性)が豊かになり、作家としての資質が養われ、自分がどのような作品を描きたいか分かってきます。このことが最も大事であり目標となります。絵本作家になるのはとても大変ですが、はじめは趣味のようなものだとしても、毎日真剣に努力すれば、いつの日かきっと絵本を作ることが、とても楽しくてなっていくことでしょう。絵本作家としてデビューするには、創作活動を長く続けていくことが大切です。私も会社に勤めながら絵本作家になることを目指していました。少子化が進むにつれ、子供の教育に対する関心は高まり、絵本の重要性が見直されていると感じます。また大人向けの絵本が出版されるなど、これから絵本の読者は広がっていくことでしょう。絵本作家のこれからとしては、今の時代の息吹が感じられる絵本、夢と希望を与えられる絵本を創りだすことが求められています。

文・絵／絵本作家 山田和明^{先生}

Profile

数々の受賞歴を持ち、特に世界で有名な絵本原画コンクール『イタリア・ポローニャ国際絵本原画展』において、2010年・2011年連続入賞を果たす。横浜デザイン学院をはじめ、後進の育成にも積極的に携わっている。

